

開設母体

要件  
TSUKUBA 社会国際学初年次チュートリアルプログラム(T-FEP)

TSUKUBA 社会国際学初年次チュートリアルプログラム(T-FEP)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BA91012	社会学の最前線チュートリアル	2	1.0	1				「社会学の最前線」の各回内容に関する質疑応答と討論を通じて各自の問題関心を深め、進級後の研究テーマを探究する。また、その研究テーマを追究するために効果的な進級後のカリキュラムの組み方について指導助言をおこなう。	今年度の「社会学の最前線」を履修中であること。原則として1年次生のみ履修可。2026年度開講せず。 対面
BA91022	法学の最前線チュートリアル	2	1.0	1				「法学の最前線」の各回内容に関する質疑応答と討論を通じて各自の問題関心を深め、進級後の研究テーマを探究する。また、その研究テーマを追究するために効果的な進級後のカリキュラムの組み方について指導助言をおこなう。	今年度の「法学の最前線」を履修中であること。原則として1年次生のみ履修可。2026年度開講せず。 対面
BA91032	政治学の最前線チュートリアル	2	1.0	1				「政治学の最前線」の各回内容に関する質疑応答と討論を通じて各自の問題関心を深め、進級後の研究テーマを探究する。また、その研究テーマを追究するために効果的な進級後のカリキュラムの組み方について指導助言をおこなう。	今年度の「政治学の最前線」を履修中であること。原則として1年次生のみ履修可。2026年度開講せず。 対面
BA91042	経済学の最前線チュートリアル	2	1.0	1				「経済学の最前線」の各回内容に関する質疑応答と討論を通じて各自の問題関心を深め、進級後の研究テーマを探究する。また、その研究テーマを追究するために効果的な進級後のカリキュラムの組み方について指導助言をおこなう。	今年度の「経済学の最前線」を履修中であること。原則として1年次生のみ履修可。2026年度開講せず。 対面
BA92012	国際学Iチュートリアル	2	1.0	1				国際学I(国際政治・国際法分野)の各回内容に関する質疑応答と討論を通じて各自の問題関心を深め、進級後の研究テーマを探究する。また、その研究テーマを追究するために効果的な進級後のカリキュラムの組み方について指導助言をおこなう。	今年度の「国際学I」を履修中であること。原則として1年次生のみ履修可。総合学域群生の履修を優先するが、定員に満たない場合は、社会・国際学群→他学群の優先順位で、他学群生の履修も認める。履修希望者が定員を上回った場合は選抜をおこなう。定員、履修条件、選抜方法、開講日等の詳細はシラバスを参照のこと。 2026年度開講せず。 対面
BA92022	国際学IIチュートリアル	2	1.0	1				国際学II(経済学分野)の各回内容に関する質疑応答と討論を通じて各自の問題関心を深め、進級後の研究テーマを探究する。また、その研究テーマを追究するために効果的な進級後のカリキュラムの組み方について指導助言をおこなう。授業の一部は英語でおこなう。	今年度の「国際学II」を履修中であること。原則として1年次生のみ履修可。総合学域群生の履修を優先するが、定員に満たない場合は、社会・国際学群→他学群の優先順位で、他学群生の履修も認める。履修希望者が定員を上回った場合は選抜をおこなう。定員、履修条件、選抜方法、開講日等の詳細はシラバスを参照のこと。 2026年度開講せず。 対面
BA92032	国際学IIIチュートリアル	2	1.0	1				国際学III(文化・社会開発分野)の各回内容に関する質疑応答と討論を通じて各自の問題関心を深め、進級後の研究テーマを探究する。また、その研究テーマを追究するために効果的な進級後のカリキュラムの組み方について指導助言をおこなう。	今年度の「国際学III」を履修中であること。原則として1年次生のみ履修可。総合学域群生の履修を優先するが、定員に満たない場合は、社会・国際学群→他学群の優先順位で、他学群生の履修も認める。履修希望者が定員を上回った場合は選抜をおこなう。定員、履修条件、選抜方法、開講日等の詳細はシラバスを参照のこと。 2026年度開講せず。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
BA92042	国際学IVチュートリアル	2	1.0	1				国際学IV(情報・環境分野)の各回内容に関する質疑応答と討論を通じて各自の問題関心を深め、進級後の研究テーマを探究する。また、その研究テーマを追究するために効果的な進級後のカリキュラムの組み方について指導助言をおこなう。	今年度の「国際学IV」を履修中であること。原則として1年次生のみ履修可。総合学域群生の履修を優先するが、定員に満たない場合は、社会・国際学群→他学群の優先順位で、他学群生の履修も認める。履修希望者が定員を上回った場合は選抜をおこなう。定員、履修条件、選抜方法、開講日等の詳細はシラバスを参照のこと。 2026年度開講せず。 対面